

三宅島ふるさとだより No29

発行日：平成 24 年 2 月 18 日 三宅島ふるさと再生ネットワーク東京事務局 電話 fax 03(3963)5697
住所：〒173-0005 東京都板橋区仲宿 25-6 あすなろ福祉会内（本部） 三宅村神着 320-2 佐藤就之



櫻田昭正村長から「新春の集い」にメッセージ

帰りたくても帰れない、毎日望郷の念に駆られながらも、都会での生活を余儀なくされている人達の気持ちは良く分かっているつもりです。

三宅村再生のための課題は、人材育成、高濃度地区の問題・産業振興、少子高齢化、医療対策等々山積し、かなりの時間も動力も必要とします。

今直ぐやらなければならないもの、時間をかけて検討すべきもの等に分け、たゆまず、焦らず、着実に取り組んでいきます。

就任にあたって、全職員に話したことは、「生まれ育った三宅島で暮らしたい！悲願でもあるそれらの人達の思いを叶え、家族共々故郷で暮らせることの幸せと、島民の安心安全な生活環境を整えるためにも“人工透析の導入”を推進する」ということです。

次世代に、子供たちや孫たちに、住みよい三宅島を残すため、住民、議会、執行機関が一体となり、この困難を乗り越え、未来に向かって村づくりをしましょう。（写真は、村職員から花束を贈られ就任挨拶をする櫻田村長）

村長選開票結果

当選 櫻田昭正（新）929 票(47%)
平野祐康（現）613 票(31%)
佐久間達己（新）432 票(22%)
無効投票・不足票 37 票

村議会議員選開票結果

当・長谷川一也（新）650・伊ヶ谷
当・上松幸男（新）310・坪田
当・彦坂明伸（新）200・阿古
当・谷 寿文（現）170・阿古
当・平川大作（現）166・坪田
当・平野辰昇（現）154・阿古
当・長谷川崇（現）151・伊ヶ谷
当・浅沼徳広（現）145 票・伊豆
栗原 稔（新）19 票・阿古
無効投票・不足票 46 票

（注）①村長候補は、三者とも無所属②村議候補は、平川大作（共産党）、長谷川崇（公明党）、他は無所属③パーセントは4捨5入。

有権者数（6日現在）2467 人（男1345 人、女1122 人）地域別・神着581 人、伊豆283 人、伊ヶ谷145 人、阿古884 人、坪田574 人

櫻田新村長に期待する！

村長・村議選挙は、2月12日投・開票が行われ当選者が決まった。村長は、三人立候補して大激戦となったが現職の平野祐康氏と前議会議長の佐久間達己氏を破り前教育長の櫻田昭正氏（72歳）が当選した。今回の選挙では、有権者数は、2462。投票者数は、2011（81・68%）。村長選得票数合計1974、村議得票数合計1965で高率となった。前回の村長選は、63、06%であり、近年各種選挙の投票率は低下していたが回復した。

村長選で当選した櫻田昭正氏の選挙公約は、①人材育成②高濃度地区規制解除③空路海路の改善・確保④基幹産業・観光振興⑤人工透析の導入⑥高齢者支援と充実した医療対策⑦人口対策。

キャッチフレーズは、三宅島の空・海のように透明な村政を！村民と村政が心を合わせた村づくりを目指して 元気と笑顔を発信！を掲げた。公約は、具体的で踏み込んだ政策で村民の支持を得た。本紙の読者はお気づきと思うが、ふるさとネットが一貫して在京者・被災者島民の切実な声・要望として訴え主張してきた高濃度地区の規制解除と再生、人工透析の導入等ようやく村政に届き実現の可能性を獲得した。

「三宅島新報」第36号で一橋大学大学院鶴飼周平准教授が指摘した住民と行政の相互不信を克服するラストチャンスとして努力したい。（佐藤）

三宅村長選

櫻田氏が新村長に

地区間対立選挙を制す

元教育長の櫻田昭正氏(72)、現職の平野祐康氏(63)、元村議長の佐久間達己氏(49)の3人が出馬し、三宅村の主要な顔ぶれが争った同村長選は、元教育長の櫻田氏が接戦を制し、初当選を果たした。当日有権者数は2462人(男性1341人、女性1121人)。

1946年に伊豆村、神着村、伊ヶ谷村が合併し、旧三宅村に。56年には阿古村、坪田村、旧三宅村が合併し、現在の三宅村となった。村民は阿古地区、坪田地区、旧三宅村地区の各地区に対する帰属意識が強い。

現職の平野氏と元議長

の佐久間氏は人口の最も多い阿古地区が地盤。平野氏と議会の対立によって、同地区から候補者が2人立つ中、村政の重要ポストを阿古地区が独占していることへの他地区からの反発もあり、旧伊ヶ谷村出身の櫻田氏が坪田地区票も取り込んだ格好となった。

当選した櫻田氏は「現村政は村民が働き去りにされているという声が強かった」と選挙戦を振り返った。

三宅村長選

櫻田氏が初当選

現職と元議長を破る

任期満了に伴う三宅村長選は12日に投票開票され、無所属の新人で元教育長の櫻田昭正氏(72)が929票を獲得し、無所属で3選を目指した現職の平野祐康氏(63)に

任期満了に伴う三宅村長選は12日に投票開票され、無所属の新人で元教育長の櫻田昭正氏(72)が929票を獲得し、無所属で3選を目指した現職の平野祐康氏(63)に



櫻田氏は1939年生まれ。日本大学文理学部卒。公立中学校教諭、都立中学校教諭、都立中学校教諭を経て、06年7月から今

三宅村長選開票結果

当 929	櫻田 昭正	72	無新①
613	平野 祐康	63	無現
432	佐久間達己	49	無新

入れる仕組みの構築を目指す方針という。

■村議8人も決まる

村議選は昨年4月4日、例村議会で議員定数条例が改正されたことを受けて、10から2減の8議席を9人の候補者が争った。投票率は村長選と同じく81・68%。前回08年の村議選は無投票で、選挙が行われた04年村議選は1・97%上回った。

三宅村議選開票結果	定数
川谷 53	650
川谷 66	310
川谷 62	200
川谷 48	170
川谷 56	166
川谷 72	154
川谷 68	151
川谷 74	145
川谷 77	19



高濃度地区解除を歓迎する

2008年の本紙第18号「会長時評」で①全島民の力で高濃度地区の「ガス条例」崩壊を食い止めよう!②「ガス条例」の居住・生業規制条項を即時撤廃せよ!③村は、住民参加で高濃度地区の生活・地域再建支援策をつくれ!と主張した。一生で築き上げた財産と生活手段が奪われた住民の無念は誰が責任を取るのか。

以下は、坪田高濃度地区の菊池さんの協力で調べた結果である。

世帯数と人口 2000年噴火前(村調べ) 世帯数126 人口279人

2011年11月現在(ネット調べ)・帰島世帯数40(32%) (内帰宅世帯数20 島内他地区世帯数20)

未帰島世帯数86(68%) 家屋崩壊と居住可能家屋 崩壊家屋150軒(85%) 居住可能家屋26軒(15%) 生業・営業停止件数 商店5軒 民宿27軒 居酒屋7軒 おみやげ店6軒 合計45軒